

# 市民による行政評価制度 「市民行政アセス」

<試行>

## 報 告 書

—平成 23 年度評価結果—



平成 24 年 9 月  
千歳市市民評価会議

## 平成 23 年度 「市民行政アセス」 評価結果 目次

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| 1. 市民による行政評価制度「市民行政アセス」の概要 .....   | 1  |
| (1) 導入の目的.....                     | 1  |
| (2) 評価方法と評価項目.....                 | 1  |
| (3) 評価結果に対する方向性の検討.....            | 1  |
| (4) 「市民行政アセス」の対象施策.....            | 2  |
| (5) 評価作業スケジュール.....                | 2  |
| (6) 評価手順.....                      | 4  |
| 2. 市民による行政評価制度「市民行政アセス」の評価結果.....  | 4  |
| (1) 雪に強い生活環境の充実.....               | 7  |
| (2) 児童福祉の充実.....                   | 11 |
| (3) 教育活動の充実.....                   | 15 |
| (4) 学びあえる仕組みづくりの推進.....            | 19 |
| (5) 教育相談・指導の充実.....                | 23 |
| (6) 公共交通の機能の充実.....                | 27 |
| (7) 防災対策の充実.....                   | 31 |
| <資料 1> 平成 24 年度 千歳市市民評価会議委員名簿..... | 35 |
| <資料 2> 千歳市市民評価会議設置要綱.....          | 36 |

## **1. 市民による行政評価制度「市民行政アセス」の概要**

### **(1) 導入の目的**

市民協働の理念に基づき、行政活動の評価に市民意見を取り入れ、評価の客観性・信頼性を向上させるとともに、事業等の改善・見直しにつなげるため、平成 24 年度から市民による行政評価を実施しています。

①期間：平成 24 年度～平成 25 年度（試行）、平成 26 年度～（本格導入）

- ・ 2 年間は試行期間とし、その間に発生する課題等を整理・検討の上、本格実施に移行します。

②対象：第 6 期総合計画を構成する施策

- ・ 施策目標を向上させるために構成されている事務事業が効果的に実施されているか等、複数の事務事業についても意見が得られ、施策目標の達成が期待できることから、施策を評価対象としています。

### **(2) 評価方法と評価項目**

①評価方法

- ・ 市民 5 名による評価機関「市民評価会議」を設置し、市の施策及び事業について評価しています。
- ・ 委員のほか、円滑な進行や議論を引き出す調整役としてアドバイザーを設置しています。
- ・ 会議が円滑に議論されるよう、ヒアリング（評価作業）前に勉強会を行っています。
- ・ 年間の会議開催数を 7 日間とし全体で 7 施策の評価を行っています。

②評価項目

- ・ 施策の今後の方向性に関する評価（施策を構成する事務事業の見直し等）及び施策評価シート（自己評価）の記載内容に関する評価の 2 項目としています。

### **(3) 評価結果に対する方向性の検討**

評価結果については、行政評価推進本部会議で評価結果の方向性について議論を行い、「市民評価会議」における意見の施策への反映等について検討を行っています。

#### (4) 「市民行政アセス」の対象施策

平成 24 年度の対象施策は、平成 23 年度に実施した施策のうち、改善・見直しの実現度（市独自で解決できる可能性）、市民協働による事業の展開、市民の関心度等を考慮し、第 1 回行政評価推進本部会議で次のとおり決定しています。

| No. | 第 6 期総合計画における施策 | 担 当 課                  |
|-----|-----------------|------------------------|
| 1   | 雪に強い生活環境の充実     | 建設部 道路管理課              |
| 2   | 児童福祉の充実         | 保健福祉部 子育て支援室<br>子育て推進課 |
| 3   | 教育活動の充実         | 教育部 学校教育課              |
| 4   | 学びあえる仕組みづくりの推進  | 教育部 生涯学習課              |
| 5   | 教育相談・指導の充実      | 教育部 青少年課               |
| 6   | 公共交通の機能の充実      | 市民環境部<br>主幹（公共交通担当）    |
| 7   | 防災対策の充実         | 総務部 危機管理課              |

#### (5) 評価作業スケジュール

第 1 回市民評価会議において、千歳市長から各委員に依頼状を交付した後、事務局より評価の概要・手順について説明を行いました。

第 2 回から第 3 回は、ヒアリングに向けた勉強会を行い、各委員が施策内容を把握し、ヒアリングに臨むこととしました。

第 4 回から第 6 回は、ヒアリングを実施し、ヒアリング後に評価ポイントの整理を行い、各委員がヒアリングシートに評価の記載を行いました。

第 7 回は委員による全体協議を行い、評価結果報告書として評価結果のまとめを行いました。

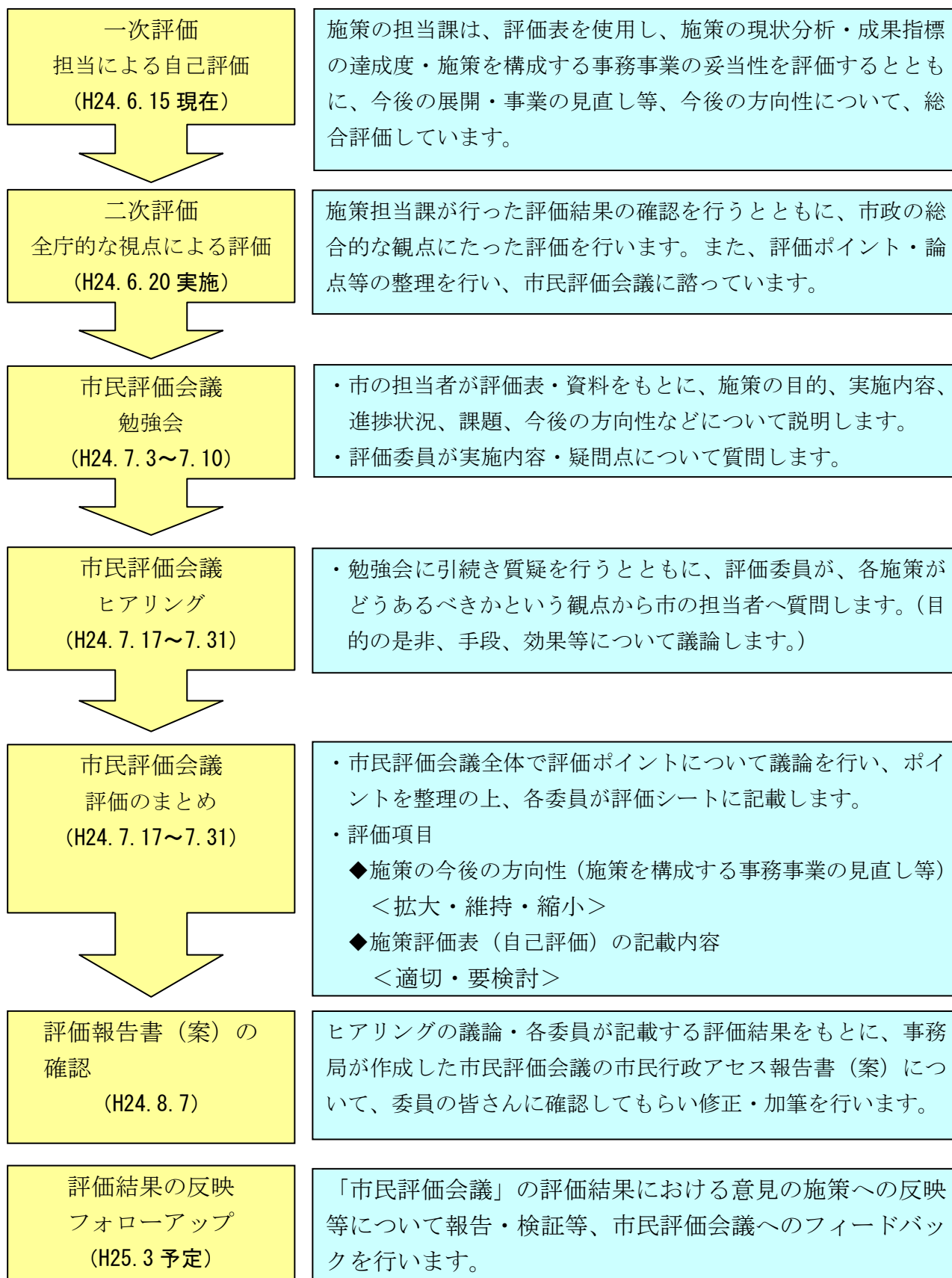
## <活動経過>

| 日程                         | 審議等の内容                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1回市民評価会議<br>平成24年6月22日（金） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・依頼状交付</li> <li>・市長挨拶</li> <li>・委員、アドバイザー及び職員紹介</li> <li>・会長及び副会長選出</li> <li>・議題（事務局説明） <ul style="list-style-type: none"> <li>（1）市民による行政評価制度「市民行政アセス」の概要</li> <li>（2）平成24年度評価作業スケジュール</li> <li>（3）評価の手順及び施策評価表の見方</li> </ul> </li> </ul> |
| 第2回市民評価会議<br>平成24年7月3日（火）  | 勉強会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・雪に強い生活環境の充実</li> <li>・児童福祉の充実</li> <li>・防災対策の充実</li> </ul>                                                                                                                                                                           |
| 第3回市民評価会議<br>平成24年7月10日（火） | 勉強会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の機能の充実</li> <li>・教育活動の充実</li> <li>・学びあえる仕組みづくりの推進</li> <li>・教育相談・指導の充実</li> </ul>                                                                                                                                                |
| 第4回市民評価会議<br>平成24年7月17日（火） | ヒアリング・評価のまとめ <ul style="list-style-type: none"> <li>・雪に強い生活環境の充実</li> <li>・防災対策の充実</li> </ul>                                                                                                                                                                                    |
| 第5回市民評価会議<br>平成24年7月24日（火） | ヒアリング・評価のまとめ <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童福祉の充実</li> <li>・公共交通の機能の充実</li> </ul>                                                                                                                                                                                     |
| 第6回市民評価会議<br>平成24年7月31日（火） | ヒアリング・評価のまとめ <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動の充実</li> <li>・学びあえる仕組みづくりの推進</li> <li>・教育相談・指導の充実</li> </ul>                                                                                                                                                            |
| 第7回市民評価会議<br>平成24年8月7日（火）  | 評価報告書（案）の確認                                                                                                                                                                                                                                                                      |

○評価結果について施策への反映などを報告・検証するため、年度内に会議を開催する予定です。

## (6) 評価手順

評価の流れは次のとおりです。



## **2. 市民による行政評価制度「市民行政アセス」の評価結果**

### **評価にあたって <総括コメント>**

#### **◎評価のポイント（視点）**

各施策の評価において次の項目をポイントに評価を行っています。

- ・市民の満足度
- ・市民協働による実施
- ・施策目標の達成状況
- ・市民ニーズとの合致
- ・評価内容の記載
- ・市民への情報提供

#### **◎評価表全体における共通の指摘事項**

##### **○ 施策の達成状況等について**

- ・ 評価表は(1)課題、(2)成果指標、(3)達成状況及び評価、(4)今後の方向性とわかりやすいフォーマットとなっているが、それぞれの内容に論理性を欠く記述が見受けられる。特に成果指標と事業評価、あるいは事業構成の妥当性等との整合性にもう少し配慮がほしい。
- ・ 成果指標に適切でないものがある。第6期総合計画の指標のほかに、より達成状況の確認が把握できる指標を追加する等、検討するべきである。
- ・ 成果指標のみでは達成状況が把握しづらい。施策の達成度の理由・問題点欄に数値だけではなく質の部分での評価を記載する等、工夫が必要である。
- ・ 担当課の評価について過小評価と思える面が感じられる。もっと正当な評価を出しても良いように思えた。(市が成果としてアピールできる部分は積極的に記載するべきである。)
- ・ 評価表の記載内容が簡素なため、「どの点が成果なのか。」伝わりづらい。千歳市独自の取組等について、記載内容からは読み取れず、ヒアリングを通じて、初めて知る特色ある事業が数多くあった。評価表のスペースは限られているが、市民に対する事業内容の情報公開の場であることを考慮し、市民目線に立った記載の工夫が必要である。

##### **○事業の実施にあたって**

- ・ 施策を構成する事業の中に他課が実施する事業もあるため、担当部の垣根を越えた横の連携により市民サービスを低下させない取組が必要である。
- ・ 毎年実施している継続事業などは、この評価作業を通じて、事業の目的と市民ニーズを改めて見直すことが重要である。

## ◎それぞれの施策に関する評価結果

市民行政アセスの対象となった7施策について、今後の展開・事業の見直し等、施策評価表の記載内容の2項目で評価を行っています。

また、次のとおり判定区分を設定し評価を行った結果、今後の展開・事業の見直し等の評価では、7施策がすべて拡大、施策評価表の記載内容では、7施策のうち1施策が適切、6施策が要検討となっています。

### <今後の展開・事業の見直し等>

- ・拡大 予算や人員の拡大のみではなく、事業内容を充実する。  
主に手法などの見直し改善を行う。
- ・維持 現状を維持し継続する。
- ・縮小 事業を縮小する。

### <施策評価表の記載内容>

- ・適切 内容がわかりやすく理解しやすいなど
- ・要検討 市民が容易に理解できるよう記載表現に工夫が必要である。

## 千歳市市民評価会議

|        |                             |
|--------|-----------------------------|
| 会長     | 石田 宏司                       |
| 副会長    | 浜 一穂                        |
| 委員     | 荒 洋一                        |
| 委員     | 廣島 潤子                       |
| 委員     | 福原 満                        |
| アドバイザー | 篠原 辰二 (Facilitator Fellows) |



### (3) 教育活動の充実

#### ○評価結果

|                  |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|------------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 市民行政アクセス（市民評価会議） | 総評            | 一次評価については、担当課とのヒアリングを通じて実施内容・評価内容を確認した結果、妥当であると判断する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|                  | 今後の展開・事業の見直し等 | 拡大 ・ 維持 ・ 縮小                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|                  |               | <p>（理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学力向上検討委員会の設置や新学習指導要領への対応、グローバルスクール事業の実施など、千歳市独自の特色ある教育活動を今後もより一層充実させることが望ましい。</li> </ul> <p>（意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知育、徳育、体育をバランスよく育む教育活動を支援するための取組は適切に行われており、学習習慣においての読書の定着が見られるなど効果が表れていることは評価できる。</li> <li>・ 今後、子どもたちの豊かな心と生きる力を育むために、学校・家庭・地域との連携を深め、生活習慣の定着や基礎学力の向上を図る必要がある。</li> </ul> <p>（事務事業の意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小中学校グローバルスクール活動事業<br/>各学校の特色ある取組を多くの市民に紹介する機会を学校行事等の際に設けてはどうか。</li> </ul> |
|                  | 施策評価表の記載内容    | <p>適切 ・ 要検討</p> <p>（理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際に取り組んでいる事業内容の記述が少ない。成果が上がっている取組について具体的な記載が欲しい。</li> </ul> <p>（意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成果指標「保護者アンケート」のみではなく、「どのような取組で成果を上げられた」など、施策の達成状況を判断した具体的な理由を記載することが望ましい。</li> <li>・ 評価表の説明語句が固いため、内容の理解が難しい。より市民目線に立った表現が望ましい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                |

|      |                      |     |         |           |           |
|------|----------------------|-----|---------|-----------|-----------|
| 基本目標 | 学びの意欲と豊かな心を育む教育文化のまち |     | 展開方針    | 小中学校教育の充実 | 整理番号      |
| 施策CD | 400320               | 施策名 | 教育活動の充実 |           | 76        |
| 担当課  | 教育部学校教育課             |     |         | 評価責任者     | 教育部長 宮崎 肇 |

1. 施策の意図及び現状分析

|       |                                                             |
|-------|-------------------------------------------------------------|
| 目指すこと | 生きる力の源となる「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」のバランスがとれた子どもたちを育む教育活動の充実を図ります。 |
|-------|-------------------------------------------------------------|

| ① 取組の方向                                                           | 実施状況  | 該当する事務事業                                   | 実施内容                                                    | 備考 |
|-------------------------------------------------------------------|-------|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------|----|
| 1 各学校の特色ある教育活動を推進します。                                             | 1.実施中 | 小中学校グローバルスクール活動事業                          | グローバルスクール活動補助金を交付した(小学校17校、中学校9校)。                      |    |
| 2 家庭教育や地域教育と連携した学習環境の創造に努めます。                                     | 1.実施中 | 学校活動支援事業                                   | 科技大が運営する電子学習システムを活用した(利用者1,114名)。                       |    |
| 3 学力向上に向けた取組を進めるとともに、幼稚園・小中学校・高等学校・大学が連携した協力体制を整えます。              | 1.実施中 |                                            | 千歳市教育機関懇話会(幼稚園・小中学校・高校・大学)を実施し学習指導をはじめとした情報の共有を行った(2回)。 |    |
| 4 国際理解、環境、福祉、情報、職業、食育、防犯など、様々な分野を通して豊かな心と生きる力を育て、未来を担う人材の育成を進めます。 | 1.実施中 | ミアーズ中学校交流事業<br>国際理解教育支援事業<br>グローバルスクール活動事業 | 小中学校へのALT配置(5名)や、グローバルスクール活動事業において様々な分野の体験的活動を実施した。     |    |
| 5 新学習指導要領に基づいた教育課程を円滑に実施します。                                      | 1.実施中 | 教育課程編成事務<br>千歳市学校課題研究指定校助成事業費              | 全小中学校の教育課程を審査した。市教委が指定した学校の課題研究に対し補助金を交付した(2校)。         |    |
| 6 「早寝・早起き・朝ごはん」や「読書」を奨励し、保護者とともに児童生徒の望ましい生活習慣づくりを進めます。            | 1.実施中 |                                            | 各小中学校において、朝読書等の読書活動の取組や食に関する指導を行った。                     |    |
| 7 社会性を身に付け礼儀正しく他者を思いやる心と健やかな体づくりを進めます。                            | 1.実施中 | 学校活動支援事業                                   | 校外活動に係るバス等の借上げや、文化活動の全国・全道大会出場補助金、中体連に対する補助金を交付した。      |    |
| 8                                                                 |       |                                            |                                                         |    |

|                  |                               |  |                                                                                                                                                         |     |       |
|------------------|-------------------------------|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 千歳市民まちづくりアンケート結果 | まちづくりアンケートの項目名：19. 小・中学校の教育環境 |  | 市民から見てこの施策は                                                                                                                                             | 区分Ⅰ | の評価です |
|                  |                               |  | ② アンケート結果に対する現状分析                                                                                                                                       |     |       |
|                  |                               |  | 平成20年の学習指導要領の改訂により、主要教科の時間数が増加し、小学校外国語活動や中学校武道が必修化されるなど、学校教育における新たな局面を迎えている。また、家庭の教育力低下に伴い、しつけや基本的な生活習慣の定着など、学校への要求や期待が多様化していることから、学校教育の重要度の優先度は高いと考える。 |     |       |

| ③ 施策の現状と課題 | 現 況                                                                                                                                                                                                   | 課 題                                                                                                                                                                      |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|            | ・学習指導要領に基づき、各学校において教育活動を展開している。<br>・教育委員会は、施策を実現するため、各校の特色ある教育活動の推進等の取組を図っている。<br>・知・徳・体すべての教育内容について保護者の期待が高くなっている。<br>・これからの世代を担う確かな信念と知識を持った人材を育てる教育への期待がますます大きくなっており、家庭や地域における教育力の強化を図る必要性が高まっている。 | ・新学習指導要領の実施に伴う新たな業務や、保護者や地域の学校への期待や要求の多様化に伴い、教員の多忙感が増している。<br>・家庭の問題の解決や、個人的な考え方を学校に訴える保護者が増加している。<br>・子どもの生きる力を育むためには、学校での取組みとともに家庭の教育力向上のため、家庭と連携した生活習慣や学習習慣の定着が必要である。 |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (自由記載欄)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 平成20年3月 小・中学校の学習指導要領が改訂された。<br>＜全面实施のスケジュール＞<br>・小学校：平成23年4月～ ・中学校：平成24年4月～<br><br>＜学習指導要領改訂の大きなポイント＞<br>・基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視。<br>・小学校～国語・社会・算数・理科・体育の授業時数が10%程度増加され、過当たりのコマ数が低学年で週2コマ、中・高学年で週1コマ増加。<br>5・6年生の外国語活動が必修化。<br>・中学校～国語・社会・数学・理科・外国語・保健体育の授業時数が実質10%程度増加され、過当たりのコマ数が各学年で週1コマ増加。武道が必修化。<br>・豊かな心や健やかな体を育てるため、道徳教育や体育などが充実された。 |

2. 成果指標の達成状況

| ① 成果指標    |                  |                                                   | 初期値                                 | H22                                              | H23        | H27 | H32 | 単位 | 初期値との比較 | H27目標達成見込   |
|-----------|------------------|---------------------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------------------|------------|-----|-----|----|---------|-------------|
| 番号        | 指標名              | 指標の内容                                             |                                     | 実績値                                              | 実績値<br>見込値 |     |     |    |         |             |
| 1         | 教育の充実に関する保護者の満足度 | 全校の学校評価の保護者アンケートで教育活動に関する項目に満足・やや満足・普通と回答した保護者の割合 | —                                   | —                                                | 89.5       | 60  | 70  | %  | —       | ◎ 目標を上回って達成 |
| 2         |                  |                                                   |                                     |                                                  |            |     |     |    |         |             |
| 3         |                  |                                                   |                                     |                                                  |            |     |     |    |         |             |
| 4         |                  |                                                   |                                     |                                                  |            |     |     |    |         |             |
| 5         |                  |                                                   |                                     |                                                  |            |     |     |    |         |             |
| ② 施策の達成状況 |                  |                                                   | 施策の達成度                              | 理由・問題点                                           |            |     |     |    |         |             |
| A         |                  |                                                   | 目標達成に向けて順調に推移<br>(目標達成は十分に可能である)    | 成果指標は目標値に対し良好な実績値となっており、施策の目標達成に向けおおむね順調に推移している。 |            |     |     |    |         |             |
| B         |                  |                                                   | 目標に向けておおむね順調に推移<br>(目標達成は可能である)     |                                                  |            |     |     |    |         |             |
| C         |                  |                                                   | 目標に向けての進捗は遅れている<br>(目標達成が遅れる可能性がある) |                                                  |            |     |     |    |         |             |

3. 施策を構成する事務事業の評価

| 【種類】事務事業の種類            |                   |    |           | 【必要性】事務事業の必要性           |           |     |                                                                            | 【妥当性】市の関与の妥当性                                                                             |             |                     |                 |                                                                                                 |                      |  |  |
|------------------------|-------------------|----|-----------|-------------------------|-----------|-----|----------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|---------------------|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|--|--|
| ・自主：自主事業<br>・施管：施設管理事業 |                   |    |           | ・経常：経常的事務<br>・ハード：ハード事業 |           |     |                                                                            | Ⅰ：市が保障する市民生活の最低水準に関わるもの<br>Ⅱ：Ⅰを超えるサービスで市民ニーズが大きいと考えられるもの<br>Ⅲ：Ⅰを超えるサービスで市民ニーズが小さいと考えられるもの |             |                     |                 | Ⅰ：市が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業<br>Ⅱ：企業や市民団体等が実施主体となり、市が補完的な役割を担うのが適当である事業<br>Ⅲ：企業や市民団体等による実施が妥当な事業 |                      |  |  |
| ① 事務事業評価               |                   |    |           |                         |           |     |                                                                            |                                                                                           |             | 事業費(直接経費・人件費)(千円)   |                 | 施策への<br>貢献度                                                                                     |                      |  |  |
| 番号                     | 事務事業名             | 種類 | 他課の<br>事業 | 成果指標                    | 評価年度(H23) |     | 事務事業の内容                                                                    | 必要<br>性                                                                                   | 妥<br>当<br>性 | 事務事業<br>の今後の<br>方向性 | H22実績(直接経費・人件費) |                                                                                                 | 〈高い〉<br>〈普通〉<br>〈低い〉 |  |  |
|                        |                   |    |           |                         | 目 標       | 単 位 |                                                                            |                                                                                           |             |                     | H23実績(直接経費・人件費) |                                                                                                 |                      |  |  |
|                        |                   |    |           |                         | 実 績       |     |                                                                            |                                                                                           |             |                     | H24目標(直接経費・人件費) |                                                                                                 |                      |  |  |
| 1                      | 小中学校運営管理業務        | 経常 | ○         | —                       | —         | —   | 光熱水費等の維持管理費や授業や学校行事で使用する教材や物品の購入等、学校運営に係る経常事務                              | —                                                                                         | —           | 1.現状のまま継続           | 471,120         | 137,638                                                                                         | 普通                   |  |  |
|                        |                   |    |           |                         | —         | —   |                                                                            |                                                                                           |             |                     | 431,308         | 97,854                                                                                          |                      |  |  |
|                        |                   |    |           |                         |           |     |                                                                            |                                                                                           |             |                     | 495,668         | —                                                                                               |                      |  |  |
| 2                      | 教育委員会運営管理業務       | 経常 | ○         | —                       | —         | —   | 教育委員会の運営に係る事務事業全般を効率かつ適正に執行し、教育委員会の円滑な運営を図り、教育行政の諸課題の解決と教育の振興を推進する。        | —                                                                                         | —           | 1.現状のまま継続           | 16,047          | 3,625                                                                                           | 普通                   |  |  |
|                        |                   |    |           |                         | —         | —   |                                                                            |                                                                                           |             |                     | 15,222          | 2,663                                                                                           |                      |  |  |
|                        |                   |    |           |                         |           |     |                                                                            |                                                                                           |             |                     | 16,982          | —                                                                                               |                      |  |  |
| 3                      | 小中学校グローバルスクール活動事業 | 自主 |           | 事業受け入れ枠に対する事業参加率        | 100       | %   | 各小中学校の生きる力を育む特色ある教育活動に対し、グローバルスクール活動事業補助金等の交付を行う。                          | Ⅱ                                                                                         | Ⅰ           | 1.現状のまま継続           | 6,500           | 2,406                                                                                           | 高い                   |  |  |
|                        |                   |    |           |                         | 100       | %   |                                                                            |                                                                                           |             |                     | 6,500           | 1,765                                                                                           |                      |  |  |
|                        |                   |    |           |                         |           |     |                                                                            |                                                                                           |             |                     | 6,500           | —                                                                                               |                      |  |  |
| 4                      | 学校活動支援事業          | 自主 |           | 補助金申請に対する支出率            | 100       | %   | 校外学習のバス確保、小規模校芸術鑑賞補助、全道・全国大会出場や中体連中文連への補助、電子学習システムの活用等、学校活動に対する支援を行う。      | Ⅰ                                                                                         | Ⅰ           | 1.現状のまま継続           | 16,462          | 1,668                                                                                           | 高い                   |  |  |
|                        |                   |    |           |                         | 100       | %   |                                                                            |                                                                                           |             |                     | 16,956          | 3,273                                                                                           |                      |  |  |
|                        |                   |    |           |                         |           |     |                                                                            |                                                                                           |             |                     | 22,855          | —                                                                                               |                      |  |  |
| 5                      | 教育課程編成業務          | 経常 |           | 適正に教育課程が編成された学校         | 26        | 校   | 各学校の教育課程を審査し、適正な教育課程の編成と学校経営が確立されるよう支援する。                                  | —                                                                                         | —           | 1.現状のまま継続           | —               | 385                                                                                             | 普通                   |  |  |
|                        |                   |    |           |                         | 26        | 校   |                                                                            |                                                                                           |             |                     | —               | 385                                                                                             |                      |  |  |
|                        |                   |    |           |                         |           |     |                                                                            |                                                                                           |             |                     | —               | —                                                                                               |                      |  |  |
| 6                      | ミアーズ中学校交流事業       | 自主 |           | ミアーズ中学校交流事業参加生徒数        | 0         | 人   | 本市中学校とアンカレッジ市ミアーズ中学校の相互訪問等を通じ、相互の文化や言語、歴史等を学び国際感覚を養うとともに、学校及び生徒間の友好の輪を広げる。 | Ⅱ                                                                                         | Ⅰ           | 1.現状のまま継続           | 1,524           | 1,444                                                                                           | 普通                   |  |  |
|                        |                   |    |           |                         | —         | 人   |                                                                            |                                                                                           |             |                     | —               | 321                                                                                             |                      |  |  |
|                        |                   |    |           |                         |           |     |                                                                            |                                                                                           |             |                     | 1,796           | —                                                                                               |                      |  |  |
| 7                      | 国際理解教育支援事業        | 自主 |           | 英会話授業の実施校数              | 17        | 校   | 英語に堪能な市民講師の配置により、小学校における総合的な学習の時間を利用した英語学習の支援を行う。3名の英語指導手を市内小学校に配置する。      | Ⅱ                                                                                         | Ⅱ           | 1.現状のまま継続           | 3,295           | 3,142                                                                                           | 普通                   |  |  |
|                        |                   |    |           |                         | 9         | 校   |                                                                            |                                                                                           |             |                     | 709             | 3,142                                                                                           |                      |  |  |
|                        |                   |    |           |                         |           |     |                                                                            |                                                                                           |             |                     | 487             | —                                                                                               |                      |  |  |
| 8                      | 国際理解教育支援事業        | 自主 |           | 中学校1学級あたりの訪問数           | 5         | 日   | 子ども達の国際感覚と実践的なコミュニケーション能力を育成するため、国の施策を利用し、2名の英語指導手を市内中学校等に配置する。            | Ⅱ                                                                                         | Ⅱ           | 1.現状のまま継続           | 1,823           | 6,445                                                                                           | 普通                   |  |  |
|                        |                   |    |           |                         | 4         | 日   |                                                                            |                                                                                           |             |                     | 1,833           | 6,445                                                                                           |                      |  |  |
|                        |                   |    |           |                         |           |     |                                                                            |                                                                                           |             |                     | 2,064           | —                                                                                               |                      |  |  |
| 9                      | 千歳市学校課題研究指定校助成事業費 | 自主 |           | 補助金申請に対する支出率            | 100       | %   | 市教委が指定した研究実践校に対して補助を行い、教育課程の改善充実を図りながら、自校及び市の学校教育の振興を図る。                   | Ⅱ                                                                                         | Ⅰ           | 1.現状のまま継続           | 200             | 160                                                                                             | 普通                   |  |  |
|                        |                   |    |           |                         | 100       | %   |                                                                            |                                                                                           |             |                     | 400             | 160                                                                                             |                      |  |  |
|                        |                   |    |           |                         |           |     |                                                                            |                                                                                           |             |                     | 400             | —                                                                                               |                      |  |  |

|                                     |     |                                   |              |                                                                                                             |         |     |         |
|-------------------------------------|-----|-----------------------------------|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-----|---------|
| 施策全体の<br>事業費                        | H22 | 実績(直接経費＋人件費)                      | 673,884 千円   | 直接経費                                                                                                        | 516,971 | 人件費 | 156,913 |
|                                     | H23 | 実績(直接経費＋人件費)                      | 588,936 千円   |                                                                                                             | 472,928 |     | 116,008 |
|                                     | H24 | 予算(直接経費)                          | 546,752 千円   |                                                                                                             | 546,752 |     | －       |
| ② 事業構成<br>の妥当性<br><br>(手段は妥当<br>か？) | A   | 効果的な事業構成である。<br>(現状のまま継続する)       | 事業構成<br>の妥当性 | 理由・問題点<br><br>効果的な事業構成であると考えられる。新学習指導要領が完全実施されて間もないことから、今後も学校現場のニーズを把握し、より一層子どもの生きる力を引き出す事業内容としていくことが必要である。 |         |     |         |
|                                     | B   | 概ね効果的な事業構成である。<br>(一部見直し等の余地がある)  | A            |                                                                                                             |         |     |         |
|                                     | C   | あまり効果的な事業構成ではない。<br>(見直し等の余地が大きい) |              |                                                                                                             |         |     |         |

#### 4. 今後の方向性

|                 |                  |    |   |                                                                                                                                                               |
|-----------------|------------------|----|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 総合評価<br>(部次長評価) | 事業の見直し等<br>今後の展開 | 拡大 | ○ | 評価コメント<br>新学習指導要領で重視されている「生きる力」を育成するためには、「確かな学力」の育成が必要である。このため、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成を目指しつつ、各学校での基礎・基本の定着や、学習意欲の喚起、学習習慣の確立に向けた学校・家庭・地域が一体となった取組みを一層進めていく必要がある。 |
|                 |                  | 維持 |   |                                                                                                                                                               |
|                 |                  | 縮小 |   |                                                                                                                                                               |

#### ○二次評価委員会

|                   |                  |    |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------------|------------------|----|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 二次評価<br>(二次評価委員会) | 事業の見直し等<br>今後の展開 | 拡大 | ○ | 評価のポイント、論点等<br>評価コメント<br>新学習指導要領の実施により、子どもたちが確かな学力を身に付けることができるよう、きめ細かな指導により、学習意欲の向上に努める必要があることから、当施策の今後の方向性及びその内容について承認する。今後は、特色ある教育を推進するため、学校評議員制度による保護者や地域住民の意向の把握など、学校・家庭・地域が連携する取組が必要である。また、市教育委員会が新たに設置した「市学力向上検討委員会」において学力向上の有効な具体策について検討する必要がある。<br>評価のポイント・論点<br>・学校・家庭・地域が協働して学校を支える仕組みの整備<br>・学習指導要領の改訂による指導体制の充実 |
|                   |                  | 維持 |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|                   |                  | 縮小 |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

#### ○市民評価会議

|                      |                  |     |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  |  |  |
|----------------------|------------------|-----|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|
| 市民行政アクセス<br>(市民評価会議) | 総評               |     |   | 一次評価については、担当課とのヒアリングを通じて実施内容・評価内容を確認した結果、妥当であると判断する。                                                                                                                                                                                                                                                                                              |  |  |  |
|                      | 事業の見直し等<br>今後の展開 | 拡大  | ○ | 理由・意見<br>(理由)<br>・学力向上検討委員会の設置や新学習指導要領への対応、グローバルスクール事業の実施など、千歳市独自の特色ある教育活動を今後もより一層充実させることが望ましい。<br>(意見)<br>・知育、徳育、体育をバランスよく育む教育活動を支援するための取組は適切に行われており、学習習慣についての読書の定着が見られるなど効果が表れていることは評価できる。<br>・今後、子どもたちの豊かな心と生きる力を育むために、学校・家庭・地域との連携を深め、生活習慣の定着や基礎学力の向上を図る必要がある。<br>(事務事業の意見)<br>・小中学校グローバルスクール活動事業<br>各学校の特色ある取組を多くの市民に紹介する機会を学校行事等の際に設けてはどうか。 |  |  |  |
|                      |                  | 維持  |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  |  |  |
|                      |                  | 縮小  |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  |  |  |
|                      | 施策評価表の<br>記載内容   | 適切  |   | 理由・意見<br>(理由)<br>・実際に取り組んでいる事業内容の記述が少ない。成果が上がっている取組について具体的な記載が欲しい。<br>(意見)<br>・成果指標「保護者アンケート」のみではなく、「どのような取組で成果を上げられた」など、施策の達成状況を判断した具体的な理由を記載することが望ましい。<br>・評価表の説明語句が固いため、内容の理解が難しい。より市民目線に立った表現が望ましい。                                                                                                                                           |  |  |  |
|                      |                  | 要検討 | ○ |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  |  |  |

#### (4) 学びあえる仕組みづくりの推進

##### ○評価結果

|                  |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------------------|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 市民行政アクセス（市民評価会議） | 総評            | 一次評価については、今後の展開が維持となっているが、事業のサービスの質を上げる必要があることから、市民評価会議では拡大の評価とする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|                  | 今後の展開・事業の見直し等 | 拡大 ・ 維持 ・ 縮小                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                  |               | <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人とのコミュニケーションが希薄になっている現在、コミュニケーションの充実に努めており、市民ニーズに応えている取組は評価できる。また、市民協働、市民コミュニティ、ネットワークづくりを進めるうえで重要な施策である。</li> </ul> <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 千歳市独自の特色ある事業内容は評価できる。今後、出前講座、ふるさとポケットなど現在の事業が形骸化しないよう、市民ニーズを的確に把握し、事業そのものの質の向上および人材育成に向けた新しい企画の展開などを期待したい。</li> <li>・ 人材育成を目的とした事業については、他課が行う同様の事業との差別化を図るため、事業目的や取組方法を検討する必要がある。</li> </ul> <p>(事務事業の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 千歳学出前講座事業</li> <li>・ 生涯学習まちづくりフェスティバル「ふるさとポケット」支援事業</li> </ul> <p>両事業について、回を重ねると事業を行うことが目的になってしまいがちである。若い世代の育成や新しいアイデアを出しながら変化していくことが望ましい。</p> |
|                  | 施策評価表の記載内容    | <p>適切 ・ 要検討</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数値指標のみならず「どのような取組で成果を上げたか」など、質に関する指標についても検討する必要がある。</li> </ul> <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評価表の中に市民ニーズの目標が達成されているかどうか、事業の浸透度等の記載があるとわかりやすい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

|      |                      |     |                |            |           |
|------|----------------------|-----|----------------|------------|-----------|
| 基本目標 | 学びの意欲と豊かな心を育む教育文化のまち |     | 展開方針           | 生涯学習のまちづくり | 整理番号      |
| 施策CD | 400110               | 施策名 | 学びあえる仕組みづくりの推進 |            | 71        |
| 担当課  | 教育部生涯学習課             |     |                | 評価責任者      | 教育部長 宮崎 肇 |

1. 施策の意図及び現状分析

|                                                        |                                  |                                |                                                                         |    |
|--------------------------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|----|
| 目指すこと                                                  | いつでも、どこでも、だれもが学びあえる仕組みづくりを推進します。 |                                |                                                                         |    |
| ① 取組の方向                                                | 実施状況                             | 該当する事務事業                       | 実施内容                                                                    | 備考 |
| 1 地域課題や生活課題に対する自主的な学習活動を支援します。                         | 1.実施中                            | 生涯学習推進事業                       | 豊かで充実した人生や生活を送るために、それぞれの分野において自発的な意思で行う学習や活動を推進する。                      |    |
| 2 市民の生涯学習活動が「人づくり」、「まちづくり」、「地域づくり」につながる学びの意欲の向上を促進します。 | 1.実施中                            | ひと・まちづくりリーダー養成事業               | 市民が自ら企画する人づくり・まちづくりを行う人材の育成と市民活動の支援を目的とした事業や学習会を企画運営する。                 |    |
| 3 市民・事業者・行政などが連携した学習支援や交流を図るよう、生涯学習の活動を支援します。          | 1.実施中                            | 千歳学出前講座事業                      | 市民と市民も学び合いによる学習活動や交流の活性化を図るとともに、市民と行政が、情報の共有化をもとに、協働してまちづくりを推進する。       |    |
| 4 市民主体のまちづくりのため、生涯学習の普及・啓発活動を充実します。                    | 1.実施中                            | 生涯学習まちづくりフェスティバル「ふるさとポケット」支援事業 | 自由な市民活動の交流の場、市民主体のまちづくりを考える場、学び合い・高め合う場、ふるさと千歳の再発見の場として「ふるさとポケット」を開催する。 |    |
| 5                                                      |                                  |                                |                                                                         |    |
| 6                                                      |                                  |                                |                                                                         |    |
| 7                                                      |                                  |                                |                                                                         |    |
| 8                                                      |                                  |                                |                                                                         |    |

|                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |  |                   |  |     |       |
|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-------------------|--|-----|-------|
| 千歳市民まちづくりアンケート調査結果 | まちづくりアンケートの項目名：18. 生涯学習の情報や機会の提供                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  | 市民から見てこの施策は       |  | 区分Ⅳ | の評価です |
|                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |  | ② アンケート結果に対する現状分析 |  |     |       |
|                    | <p>市民生活における年代別に見る「満足度」は全ての年代、性別においてある程度高いといえるが、「重要度」は全ての年代、性別ともに低いという結果となっている。</p> <p>「満足度」と「重要度」を性別及び年代別に見ると……、満足度について性別では男女ともに高い数値を示しており、年代別でも60～70歳代が高い数値を示し、次いで18～50歳代が一線となっている。60～70歳代の高齢者に対する高星大学や若返り学級など、学習の機会が多いことから満足度が高い結果となったと思われる。</p> <p>重要度は、男女ともに低い数値を示している。年代別には18～29歳代と70歳代以上という両極の世代において数値は低いと比較的重要に感じているようである。その他の年代においてはそれほど重要に思っていないと思われるが、この年代は働き盛りであり、講座を受講する時間的余裕が無かったことから、このような結果になったのではないかと推察される。</p> <p>重要度の優先度を上げるためには、性別・年代に応じた学習機会の設定を検討することにより、生涯学習についての意識の高揚を図ることが必要と思われる。</p> |  |                   |  |     |       |

|            |                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                    |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ③ 施策の現状と課題 | 現 況                                                                                                                       | 課 題                                                                                                                                                                                |
|            | 千歳市は転出入の割合が多いことから、ふるさと意識や近所付き合いなど、人とのかわりが希薄と言われている。<br>市民と行政のパートナーシップの形成を図るものとして市民と協働による出前講座や催し物の開催などにより生涯学習基盤の確立を目指している。 | 市民1人ひとりが自己を高め、千歳に誇りと愛着を持ち生きがいのある暮らしを行うために、生涯学習による人づくりやまちづくりの観点から「市民の立場、暮らしの発想」「人材育成の重視」「経済性・効率性の重視」「市民参加の重視」のもと、市の関与により各政策の理解や行政課題の解決につなげる必要がある。<br>また、年代に考慮した講座の開設についても検討する必要がある。 |

(自由記載欄)

● 出前講座利用状況

| 年度   | 市役所編 |        | 市民編 |       | 仕事編 |     | 計   |        |
|------|------|--------|-----|-------|-----|-----|-----|--------|
|      | 回    | 人      | 回   | 人     | 回   | 人   | 回   | 人      |
| 21年度 | 216  | 10,728 | 52  | 1,905 | 10  | 286 | 378 | 12,919 |
| 22年度 | 237  | 13,078 | 62  | 1,977 | 7   | 193 | 406 | 15,248 |
| 23年度 | 409  | 14,917 | 77  | 2,150 | 5   | 98  | 491 | 17,165 |

● ひと・まちづくりリーダー養成事業状況

- 7月31日(日)12:00～七夕きらきらまつり 参加者:398人
- 11月6日(日)13:30～「千歳の楽しみ方・遊び方を話し合おう」 参加者: 17人
- 1月21日(土)13:30～ playbackちとせ～千歳今昔物語～ 参加者:112人
- 3月18日(日)13:30～ ちとせの輝く処方箋～Dr.木村のまちづくり診断～ 参加者: 80人

● 生涯学習まちづくりフェスティバル「ふるさとポケット」事業状況

- 本市の生涯学習・市民協働の考え方に多くの市民団体が参画して立ち上げた事業。
- 開催趣旨～人の魅力で街が輝く生涯学習都市の実現をめざすため、様々な市民活動の交流と人とのネットワークづくりをめざす。
- 開催ビジョン～『市民が集まり、語り合い、学びあい、高めあい、一緒に「ふるさとポケット」を作っていく過程を大切に。』としている。
- 開催場所～青葉公園内(園路、なかよし広場・図書館)

・実施状況

|       |          |
|-------|----------|
| 事業名   | ふるさとポケット |
| 実施日   | H23.9.25 |
| 参加団体数 | 32団体     |
| 来場者数  | 17,000人  |



| 2. 成果指標の達成状況 |                    |                                             |                                     |                 |                                                                                                                                                                                       |     |     |     |    |         |           |
|--------------|--------------------|---------------------------------------------|-------------------------------------|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|-----|----|---------|-----------|
| ① 成果指標       |                    |                                             |                                     | 初期値             | H22                                                                                                                                                                                   | H23 | H27 | H32 | 単位 | 初期値との比較 | H27目標達成見込 |
| 番号           | 指標名                | 指標の内容                                       | 実績値                                 |                 | 実績値<br>見込値                                                                                                                                                                            | 目標値 | 目標値 |     |    |         |           |
| 1            | 生涯学習活動支援に対する市民の満足度 | 市民アンケートで「生涯学習の情報や機会の提供」に満足・やや満足・普通と回答した人の割合 | 79.4                                | —               | —<br>—                                                                                                                                                                                | 81  | 82  | %   | —  | —       |           |
| 2            |                    |                                             |                                     |                 |                                                                                                                                                                                       |     |     |     |    |         |           |
| 3            |                    |                                             |                                     |                 |                                                                                                                                                                                       |     |     |     |    |         |           |
| 4            |                    |                                             |                                     |                 |                                                                                                                                                                                       |     |     |     |    |         |           |
| 5            |                    |                                             |                                     |                 |                                                                                                                                                                                       |     |     |     |    |         |           |
| ② 施策の達成状況    |                    | A                                           | 目標達成に向けて順調に推移<br>(目標達成は十分に可能である)    | 施策の達成度<br><br>B | 理由・問題点<br>平成20年以降、アンケート調査を実施していないことから、成果指標からの達成状況は確認できないが、施策の取組については、広く市民に定着しており、目標値の達成は可能と思われる。一部事業において、高齢化などにより参加団体の減少が見られたが、新たに団体への参加を呼びかけた結果、参加の意向を示した団体もあることから、今後、参加団体の増加が見込まれる。 |     |     |     |    |         |           |
|              |                    | B                                           | 目標に向けておおむね順調に推移<br>(目標達成は可能である)     |                 |                                                                                                                                                                                       |     |     |     |    |         |           |
|              |                    | C                                           | 目標に向けての進捗は遅れている<br>(目標達成が遅れる可能性がある) |                 |                                                                                                                                                                                       |     |     |     |    |         |           |

| 3. 施策を構成する事務事業の評価                                 |                                |    |       |                                                                                           |           |    |                                                                         |                                                                                                 |     |                   |                 |                 |                 |                            |       |    |
|---------------------------------------------------|--------------------------------|----|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|----|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------------------|-------|----|
| 【種類】事務事業の種類                                       |                                |    |       | 【必要性】事務事業の必要性                                                                             |           |    |                                                                         | 【妥当性】市の関与の妥当性                                                                                   |     |                   |                 |                 |                 |                            |       |    |
| ・自主：自主事業<br>・経営：経常的業務<br>・施設：施設管理事業<br>・ハード：ハード事業 |                                |    |       | Ⅰ：市が保障する市民生活の最低水準に関わるもの<br>Ⅱ：Ⅰを超えるサービスで市民ニーズが大きいと考えられるもの<br>Ⅲ：Ⅰを超えるサービスで市民ニーズが小さいと考えられるもの |           |    |                                                                         | Ⅰ：市が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業<br>Ⅱ：企業や市民団体等が実施主体となり、市が補完的な役割を担うのが適当である事業<br>Ⅲ：企業や市民団体等による実施が妥当な事業 |     |                   |                 |                 |                 |                            |       |    |
| ① 事務事業評価                                          |                                |    |       |                                                                                           |           |    |                                                                         |                                                                                                 |     | 事業費(直接経費・人件費)(千円) |                 | 施策への貢献度         |                 |                            |       |    |
| 番号                                                | 事務事業名                          | 種類 | 他課の事業 | 成果指標                                                                                      | 評価年度(H23) |    | 事務事業の内容                                                                 | 必要性                                                                                             | 妥当性 | 事務事業の今後の方向性       | H22実績(直接経費・人件費) | H23実績(直接経費・人件費) | H24目標(直接経費・人件費) | 高い<br>(高い)<br>(普通)<br>(低い) |       |    |
|                                                   |                                |    |       |                                                                                           | 目標        | 実績 |                                                                         |                                                                                                 |     |                   | 単位              |                 |                 |                            |       |    |
|                                                   |                                |    |       |                                                                                           |           |    |                                                                         |                                                                                                 |     |                   |                 |                 |                 |                            |       |    |
| 1                                                 | 生涯学習推進事業                       | 自主 |       | 生涯学習活動参加者数                                                                                | 15,900    | 人  | 豊かで充実した人生や生活を送るために、それぞれの分野において自発的な意思で行う学習や活動を推進する。                      | Ⅱ                                                                                               | Ⅱ   | 1.現状のまま継続         | 137             | 1,444           | 295             | 1,444                      | 468   | 普通 |
|                                                   |                                |    |       |                                                                                           | 17,575    |    |                                                                         |                                                                                                 |     |                   |                 |                 |                 |                            |       |    |
| 2                                                 | 千歳学出前講座事業                      | 自主 |       | 出前講座受講者数                                                                                  | 15,300    | 人  | 市民と市民の学びあいによる学習活動や交流の活性化を図るとともに、市民と行政が、情報の共有をもとに、協働してまちづくりを推進する。        | Ⅱ                                                                                               | Ⅱ   | 1.現状のまま継続         | 1,321           | 4,010           | 1,320           | 4,010                      | 1,400 | 高い |
|                                                   |                                |    |       |                                                                                           | 17,165    |    |                                                                         |                                                                                                 |     |                   |                 |                 |                 |                            |       |    |
| 3                                                 | 生涯学習まちづくりフェスティバル「ふるさとポケット」支援事業 | 自主 |       | 「ふるさとポケット」来場者数                                                                            | 20,000    | 人  | 自由な市民活動の交流の場、市民主体のまちづくりを考える場、学び合い・高め合う場、ふるさと千歳の再発見の場として「ふるさとポケット」を開催する。 | Ⅱ                                                                                               | Ⅲ   | 1.現状のまま継続         | 2,358           | 4,171           | 2,198           | 4,171                      | 2,400 | 高い |
|                                                   |                                |    |       |                                                                                           | 17,000    |    |                                                                         |                                                                                                 |     |                   |                 |                 |                 |                            |       |    |
| 4                                                 | ひと・まちづくりリーダー養成事業               | 自主 |       | リーダー養成事業受講者数                                                                              | 700       | 人  | 「みんなで、ひと・まちづくり委員会」を組織し、ひとづくり・まちづくりを行う人材の育成と市民活動の支援を目的とした事業や学習会を企画運営する。  | Ⅱ                                                                                               | Ⅱ   | 1.現状のまま継続         | 865             | 3,529           | 1,015           | 3,529                      | 1,200 | 普通 |
|                                                   |                                |    |       |                                                                                           | 607       |    |                                                                         |                                                                                                 |     |                   |                 |                 |                 |                            |       |    |
| 5                                                 | 社会教育委員設置事業                     | 自主 |       | 会議開催数                                                                                     | 12        | 回  | 学識経験者や社会教育関係団体など市民各層から選出された方々で構成される社会教育委員を設置し、諸課題の協議を行う。                | Ⅱ                                                                                               | Ⅰ   | 1.現状のまま継続         | 1,091           | 3,144           | 524             | 3,144                      | 822   | 普通 |
|                                                   |                                |    |       |                                                                                           | 12        |    |                                                                         |                                                                                                 |     |                   |                 |                 |                 |                            |       |    |
| 6                                                 |                                |    |       |                                                                                           |           |    |                                                                         |                                                                                                 |     |                   |                 |                 |                 |                            |       |    |
|                                                   |                                |    |       |                                                                                           |           |    |                                                                         |                                                                                                 |     |                   |                 |                 |                 |                            |       |    |
| 7                                                 |                                |    |       |                                                                                           |           |    |                                                                         |                                                                                                 |     |                   |                 |                 |                 |                            |       |    |
|                                                   |                                |    |       |                                                                                           |           |    |                                                                         |                                                                                                 |     |                   |                 |                 |                 |                            |       |    |
| 8                                                 |                                |    |       |                                                                                           |           |    |                                                                         |                                                                                                 |     |                   |                 |                 |                 |                            |       |    |
|                                                   |                                |    |       |                                                                                           |           |    |                                                                         |                                                                                                 |     |                   |                 |                 |                 |                            |       |    |
| 9                                                 |                                |    |       |                                                                                           |           |    |                                                                         |                                                                                                 |     |                   |                 |                 |                 |                            |       |    |
|                                                   |                                |    |       |                                                                                           |           |    |                                                                         |                                                                                                 |     |                   |                 |                 |                 |                            |       |    |
|                                                   |                                |    |       |                                                                                           |           |    |                                                                         |                                                                                                 |     |                   |                 |                 |                 |                            |       |    |

|                             |     |                                   |           |                                                                                                                                                                                                                           |       |     |        |
|-----------------------------|-----|-----------------------------------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-----|--------|
| 施策全体の事業費                    | H22 | 実績(直接経費＋人件費)                      | 22,070 千円 | 直接経費                                                                                                                                                                                                                      | 5,772 | 人件費 | 16,298 |
|                             | H23 | 実績(直接経費＋人件費)                      | 21,650 千円 |                                                                                                                                                                                                                           | 5,352 |     | 16,298 |
|                             | H24 | 予算(直接経費)                          | 6,290 千円  |                                                                                                                                                                                                                           | 6,290 |     | －      |
| ② 事業構成の妥当性<br><br>(手段は妥当か？) | A   | 効果的な事業構成である。<br>(現状のまま継続する)       | 事業構成の妥当性  | 理由・問題点<br><br>生涯学習をまちづくりの視点から推進していくため、市民活動を支援し、人材の育成とそれらを結ぶ横の連携が必要となる。このようなことから、市民・団体・事業者・学校・行政などが連携し、活動に伴う様々な情報を共有し、市民活動をリードする地域の人材育成と発掘に努めることが大切なことである。以上のことから、上記の事務事業については効果的な事業構成であると考えられるが、目的達成のため状況に応じて見直すことも必要である。 |       |     |        |
|                             | B   | 概ね効果的な事業構成である。<br>(一部見直し等の余地がある)  | B         |                                                                                                                                                                                                                           |       |     |        |
|                             | C   | あまり効果的な事業構成ではない。<br>(見直し等の余地が大きい) |           |                                                                                                                                                                                                                           |       |     |        |

| 4. 今後の方向性       |               |    |   |                                                                                                                                                                          |
|-----------------|---------------|----|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 総合評価<br>(部次長評価) | 今後の展開・事業の見直し等 | 拡大 |   | 評価コメント<br>生涯学習においては、市民一人ひとりが生きがいと潤いのある人生を過ごすために、自由で主体的な学習活動を高め、心を豊かにしていくことや地域の活性化を目指すため、市民・団体・事業者・学校・行政が協働で、「人づくり」、「まちづくり」、「地域づくり」につながる学習機会の充実を図り、市民の生涯学習活動を支援していく必要がある。 |
|                 |               | 維持 | ○ |                                                                                                                                                                          |
|                 |               | 縮小 |   |                                                                                                                                                                          |

| ○二次評価委員会          |               |    |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------------|---------------|----|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 二次評価<br>(二次評価委員会) | 今後の展開・事業の見直し等 | 拡大 |   | 評価のポイント、論点等<br>評価コメント<br>市民主体・市民協働のまちづくりを持続し、学びあう場の充実に努める必要がある。まちづくりアンケート結果では、満足度は高いが重要度は低い結果となっていることから、年代に応じた学習機会の提供を行うため、既存の事業にとらわれず、新たな事業の導入、市長部局の類似事業との区別を図る等、見直しする必要がある。<br>評価のポイント・論点<br>・年代に応じた学習機会の設定<br>・市民ニーズを満足させる学習メニューの考案<br>・ひと・まちづくりリーダー養成事業<br>(事業目的と事業内容の整合性を図る必要がある。) |
|                   |               | 維持 | ○ |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                   |               | 縮小 |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

| ○市民評価会議             |               |     |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------------------|---------------|-----|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 市民行政アセス<br>(市民評価会議) | 総評            |     |   | 一次評価については、今後の展開が維持となっているが、事業のサービスの質を上げる必要があることから、市民評価会議では拡大の評価とする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                     | 今後の展開・事業の見直し等 | 拡大  | ○ | 理由・意見<br>(理由)<br>・人とのコミュニケーションが希薄になっている現在、コミュニケーションの充実に努めており、市民ニーズに応えている取組は評価できる。また、市民協働、市民コミュニティ、ネットワークづくりを進めるうえで重要な施策である。<br>(意見)<br>・千歳市独自の特色ある事業内容は評価できる。今後、出前講座、ふるさとポケットなど現在の事業が形骸化しないよう、市民ニーズを的確に把握し、事業そのものの質の向上および人材育成に向けた新しい企画の展開などを期待したい。<br>・人材育成を目的とした事業については、他課が行う同様の事業との差別化を図るため、事業目的や取組方法を検討する必要がある。<br>(事務事業の意見)<br>・千歳学出前講座事業<br>・生涯学習まちづくりフェスティバル「ふるさとポケット」支援事業<br>両事業について、回を重ねると事業を行うことが目的になってしまいがちである。若い世代の育成や新しいアイデアを出しながら変化していくことが望ましい。 |
|                     |               | 維持  |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|                     |               | 縮小  |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|                     | 施策評価表の記載内容    | 適切  |   | 理由・意見<br>(理由)<br>・数値指標のみならず「どのような取組で成果を上げたか」など、質に関する指標についても検討する必要がある。<br>(意見)<br>・評価表の中に市民ニーズの目標が達成されているかどうか、事業の浸透度等の記載があるとわかりやすい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                     |               | 要検討 | ○ |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |



## (5) 教育相談・指導の充実

### ○評価結果

|                  |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|------------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 市民行政アクセス（市民評価会議） | 総評            | 一次評価については、担当課とのヒアリングを通じて実施内容・評価内容を確認した結果、妥当であると判断する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|                  | 今後の展開・事業の見直し等 | 拡大 ・ 維持 ・ 縮小                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                  |               | <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭環境の中で、子どもの教育について悩んでいる市民は少なくない。心の相談員・スクールカウンセラーの配置事業は、市民ニーズに沿うものである。今後も問題の多様化・深刻化に対応するため、学校と地域の連携、カウンセラーの増員など、相談者に寄り添い親身になって気づかう体制が必要である。</li> </ul> <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校、いじめ対策に対する事務事業がすべて自主事業により展開されていることは、千歳市が責任を持ち対応する姿勢が表れていて、高く評価できる。</li> </ul> <p>(事務事業の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心の教室相談員配置事業<br/>心の相談員は地域の人材の配置により、学校と地域のパイプ作りも担っている。子どもの変化に気づき学校に伝えられるよう未然防止に努めてほしい。</li> <li>・スクールカウンセラー配置事業<br/>スクールカウンセラーの案内が学校から年度初めにプリントにより配布されるが、できれば年に数回、情報発信を行いPRを図ってはどうか。</li> </ul> |
|                  | 施策評価表の記載内容    | 適切 ・ 要検討                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|                  |               | <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策に対する事業内容や活動の実態が伝わりにくい。</li> </ul> <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市独自の取組等、具体的な活動内容のPRは市民の理解を得るため重要である。本事業の情報発信の方法について再吟味が必要である。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

|      |                      |     |            |           |           |
|------|----------------------|-----|------------|-----------|-----------|
| 基本目標 | 学びの意欲と豊かな心を育む教育文化のまち |     | 展開方針       | 小中学校教育の充実 | 整理番号      |
| 施策CD | 400360               | 施策名 | 教育相談・指導の充実 |           | 80        |
| 担当課  | 教育部青少年課              |     |            | 評価責任者     | 教育部長 宮崎 肇 |

1. 施策の意図及び現状分析

|                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                             |                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                |          |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 目指すこと                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 社会環境の変化や個々の児童生徒の状態に対応できるよう、教育相談や指導の充実を図ります。 |                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                |          |
| ① 取組の方向                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 実施状況                                        | 該当する事務事業                                                                                                                                                      | 実施内容                                                                                                                                                                                           | 備考       |
| 1                                                                                                                                                                                                                              | 不登校児童生徒の学校復帰を目指し、個々の児童生徒の状態に応じた教育相談や指導体制を充実します。                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 1.実施中                                       | 適応指導教室運営事業                                                                                                                                                    | 不登校児童生徒の教育相談及び学校復帰を支援するため、適応指導教室を運営する。                                                                                                                                                         |          |
| 2                                                                                                                                                                                                                              | 社会環境の変化に伴う児童生徒や教職員の悩み・不安を解消するため、臨床心理士などによる教育相談窓口の充実を図ります。                                                                                                                                                                                                                                                                       | 1.実施中                                       | スクールカウンセラー配置事業                                                                                                                                                | 臨床心理士による児童生徒・保護者・教員等に対する教育相談を小学校と教育委員会で実施する。                                                                                                                                                   |          |
| 3                                                                                                                                                                                                                              | 児童の身近な相談相手として、地域の人材(元教員や元PTAなど)を心の教室相談員として配置し、心の悩みなどの相談機会を拡充し、問題行動の未然防止を図ります。                                                                                                                                                                                                                                                   | 1.実施中                                       | 心の教室相談員事業                                                                                                                                                     | 児童の悩みや不安、ストレス解消を図るため、小学校に相談員を配置する。市内小学校13校                                                                                                                                                     |          |
| 4                                                                                                                                                                                                                              | 児童生徒が安全で快適な学校生活を送るために、学校・教育委員会・家庭・地域・関係機関等が連携・協力し指導の充実を図ります。                                                                                                                                                                                                                                                                    | 1.実施中                                       | 生徒指導事業                                                                                                                                                        | 生徒指導に係る経費の負担及び小中学生等の非行防止と犯罪被害を防止するため関係機関との連携を図る。                                                                                                                                               |          |
| 5                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                             |                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                |          |
| 6                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                             |                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                |          |
| 7                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                             |                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                |          |
| 8                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                             |                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                |          |
| 千歳市民まちづくりアンケート調査結果                                                                                                                                                                                                             | まちづくりアンケートの項目名：19. 小・中学校の教育環境                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                             |                                                                                                                                                               | 市民から見てこの施策は                                                                                                                                                                                    | 区分Ⅰの評価です |
|                                                                                                                                                                                                                                | <div><div>1.64</div><div>↑</div><div>重要度</div><div>↓</div><div>0.84</div><div>平均重要度</div><div>0.04</div></div> <div><div>Ⅰ 満足度が低く、重要度の優先度が高い</div><div>Ⅲ 満足度が高く、重要度の優先度も高い</div><div>Ⅱ 満足度が低く、重要度の優先度も低い</div><div>Ⅳ 満足度が高く、重要度の優先度が低い</div></div> <div><div>▲ 0.70</div><div>← 満足度 →</div><div>0.00</div><div>0.70</div></div> |                                             |                                                                                                                                                               | ② アンケート結果に対する現状分析                                                                                                                                                                              |          |
|                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                             |                                                                                                                                                               | 学校生活においていじめ・不登校及び暴力行為などの問題行動は、誰にでも、どの学校でも起こりえる問題であり、未然防止や早期発見・早期対応を図ることが重要である。<br>平成23年度に教育委員会に寄せられた教育相談97件のうち28件(約30%)が不登校にかかる相談であることから、児童生徒や保護者が抱える不安などを解消し安心して学校生活を送るため、教育相談や指導の充実が求められている。 |          |
| ③ 施策の現状と課題                                                                                                                                                                                                                     | 現 況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                             | 課 題                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                |          |
|                                                                                                                                                                                                                                | ・不登校児童生徒数については増加傾向にあり、適応指導教室への通級や心の教室に訪れる児童も増えている。<br>・スクールカウンセラー相談者数では、相談内容に発達障害傾向の判断など時間をかけて対応する状況がある。<br>・児童生徒の非行事故は減少しているが、交通事故等は30件前後で推移している。                                                                                                                                                                              |                                             | ・不登校等の状況に対しては、児童生徒からの不安等の訴えに加え、保護者からの教育相談にも対応するなど学校での相談のみならず、広く相談支援ができる体制を整える必要がある。<br>・児童生徒の非行等の未然防止及び事故等の防止には、学校における日常的な注意喚起や生徒指導のほか、基本的なルールを家庭で学ぶことも必要である。 |                                                                                                                                                                                                |          |
|                                                                                                                                                                                                                                | (自由記載欄)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                             |                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                |          |
| 現況説明にかかる推移                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                             |                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                |          |
|                                                                                                                                                                                                                                | 平成20年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 平成21年度                                      | 平成22年度                                                                                                                                                        | 平成23年度                                                                                                                                                                                         |          |
| 不登校児童生徒数(延べ)                                                                                                                                                                                                                   | 63人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 86人                                         | 81人                                                                                                                                                           | 105人                                                                                                                                                                                           |          |
| 適応指導教室通級生数(延べ)                                                                                                                                                                                                                 | 18人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 19人                                         | 27人                                                                                                                                                           | 37人                                                                                                                                                                                            |          |
| 教育相談者数(教育委員会)                                                                                                                                                                                                                  | 135人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 170人                                        | 180人                                                                                                                                                          | 214人                                                                                                                                                                                           |          |
| 心の教室に訪れた数                                                                                                                                                                                                                      | 15,880人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 19,408人                                     | 21,436人                                                                                                                                                       | 23,045人                                                                                                                                                                                        |          |
| スクールカウンセラー相談者数(北海道委託事業による相談も含む)                                                                                                                                                                                                | 1,686人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 1,855人                                      | 2,014人                                                                                                                                                        | 1,516人                                                                                                                                                                                         |          |
| 児童生徒非行事故件数                                                                                                                                                                                                                     | 87件                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 82件                                         | 55件                                                                                                                                                           | 45件                                                                                                                                                                                            |          |
| 児童生徒交通事故・一般事故件数                                                                                                                                                                                                                | 26件                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 31件                                         | 26件                                                                                                                                                           | 29件                                                                                                                                                                                            |          |
| * 適応指導教室とは、<br>不登校児童生徒の増加と多様化に対応するため、個々の児童生徒の状態に応じた教育相談を行うとともに、集団的な生活習慣や学習集団活動等について指導・援助を行い、自立や学校生活への復帰を目指す。<br>千歳市では、平成9年度から千歳市青少年会館内に、適応指導教室「おあしす」を開設して、通級生に指導・援助を行っている。<br>活動内容は、学習活動や集団行動の支援など、指導員が児童生徒に対して個別またはグループ指導を行う。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                             |                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                |          |
| * スクールカウンセラーによる教育相談は、<br>中学校7校と中学校を拠点とする2校の小学校が北海道の委託事業で実施しており、市の配置事業は、小学校5校と教育委員会における教育相談(月2回)を実施。                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                             |                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                |          |

2. 成果指標の達成状況

| ① 成果指標    |              |                                    |        |                                     |            |                                                                                                                                                                                                                                    |     |    |           |               |
|-----------|--------------|------------------------------------|--------|-------------------------------------|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----|-----------|---------------|
| 番号        | 指標名          | 指標の内容                              | 初期値    | H22                                 | H23        | H27                                                                                                                                                                                                                                | H32 | 単位 | 初期値との比較   | H27目標達成見込     |
|           |              |                                    |        | 実績値                                 | 実績値<br>見込値 |                                                                                                                                                                                                                                    |     |    |           |               |
| 1         | 学校復帰率        | 不登校児童生徒が学校復帰した割合                   | 48.8   | 58.0                                | 72.4       | 65                                                                                                                                                                                                                                 | 70  | %  | ○よくなった・維持 | ○目標達成に向け順調に推移 |
| 2         | 相談業務月平均開設時間数 | スクールカウンセラー・心の教室相談員による相談業務の月平均開設時間数 | 450    | 450                                 | 450        | 480                                                                                                                                                                                                                                | 540 | 時間 | ○よくなった・維持 | ○目標達成に向け順調に推移 |
| 3         |              |                                    |        |                                     |            |                                                                                                                                                                                                                                    |     |    |           |               |
| 4         |              |                                    |        |                                     |            |                                                                                                                                                                                                                                    |     |    |           |               |
| 5         |              |                                    |        |                                     |            |                                                                                                                                                                                                                                    |     |    |           |               |
| ② 施策の達成状況 |              |                                    | A      | 目標達成に向けて順調に推移<br>(目標達成は十分に可能である)    |            | 理由・問題点<br>不登校等の問題行動の要因は、友人関係の悩みや学業不振、家庭内の不和など様々であることから、児童生徒の不安を解消するため、心の教室相談員やスクールカウンセラーを配置し第三者の視点や臨床心理の専門的な立場からの教育相談を実施している。また、学校復帰に向けては、児童生徒の成長や不安解消の段階に応じた支援や指導を行う適応指導教室を開設している。<br>生徒指導については、学校や家庭、関係団体との連携を図り非行等の未然防止等に努めている。 |     |    |           |               |
|           |              |                                    | B      | 目標に向けておおむね順調に推移<br>(目標達成は可能である)     |            |                                                                                                                                                                                                                                    |     |    |           |               |
|           |              |                                    | C      | 目標に向けての進捗は遅れている<br>(目標達成が遅れる可能性がある) |            |                                                                                                                                                                                                                                    |     |    |           |               |
|           |              |                                    | 施策の達成度 |                                     | B          |                                                                                                                                                                                                                                    |     |    |           |               |

3. 施策を構成する事務事業の評価

| 【種類】事務事業の種類            |                |    |            | 【必要性】事務事業の必要性           |           |    |                                                                       | 【妥当性】市の関与の妥当性                                                                                   |             |                     |                 |             |    |
|------------------------|----------------|----|------------|-------------------------|-----------|----|-----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|---------------------|-----------------|-------------|----|
| ・自主：自主事業<br>・施管：施設管理事業 |                |    |            | ・経常：経常的事務<br>・ハード：ハード事業 |           |    |                                                                       | Ⅰ：市が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業<br>Ⅱ：企業や市民団体等が実施主体となり、市が補完的な役割を担うのが適当である事業<br>Ⅲ：企業や市民団体等による実施が妥当な事業 |             |                     |                 |             |    |
| ① 事務事業評価               |                |    |            |                         |           |    |                                                                       |                                                                                                 |             | 事業費(直接経費・人件費)(千円)   |                 | 施策への<br>貢献度 |    |
| 番号                     | 事務事業名          | 種類 | 他課の<br>事業の | 成果指標                    | 評価年度(H23) |    | 事務事業の内容                                                               | 必要<br>性                                                                                         | 妥<br>当<br>性 | 事務事業<br>の今後の<br>方向性 | H22実績(直接経費・人件費) |             |    |
|                        |                |    |            |                         | 目 標       | 単位 |                                                                       |                                                                                                 |             |                     | H23実績(直接経費・人件費) |             |    |
|                        |                |    |            |                         | 実 績       |    |                                                                       |                                                                                                 |             |                     | H24目標(直接経費・人件費) |             |    |
| 1                      | 適応指導教室運営事業     | 自主 |            | 学校復帰率                   | 50        | %  | 不登校状態の小中学生の学校生活復帰支援の教室開設、不登校等の早期解決と未然防止に向け、学校・地域・関係機関と連携した支援体制づくりを行う。 | Ⅰ                                                                                               | Ⅰ           | 1.現状のまま継続           | 3,013           | 8,057       | 高い |
|                        |                |    |            |                         | 72.4      |    |                                                                       |                                                                                                 |             |                     | 3,084           | 8,057       |    |
|                        |                |    |            |                         |           |    |                                                                       |                                                                                                 |             |                     | 3,131           | -           |    |
| 2                      | 心の教室相談員配置事業    | 自主 |            | 心の教室相談対応件数              | 700       | 件  | 心の教育相談員を配置し、適切な教育相談や基本的な生活習慣等の指導を行い、悩みや不安、ストレスを解消する。                  | Ⅰ                                                                                               | Ⅰ           | 1.現状のまま継続           | 3,700           | 3,286       | 高い |
|                        |                |    |            |                         | 462       |    |                                                                       |                                                                                                 |             |                     | 3,697           | 3,286       |    |
|                        |                |    |            |                         |           |    |                                                                       |                                                                                                 |             |                     | 3,712           | -           |    |
| 3                      | スクールカウンセラー配置事業 | 自主 |            | スクールカウンセラー相談対応件数        | 2,000     | 件  | カウンセラー(臨床心理士)によるカウンセリングを行い、適切な教育相談や基本的な生活習慣等の指導を行う。                   | Ⅰ                                                                                               | Ⅰ           | 2.見直して継続            | 2,151           | 3,767       | 高い |
|                        |                |    |            |                         | 1,516     |    |                                                                       |                                                                                                 |             |                     | 2,152           | 3,767       |    |
|                        |                |    |            |                         |           |    |                                                                       |                                                                                                 |             |                     | 2,599           | -           |    |
| 4                      | 生徒指導事業         | 自主 |            | 非行事故・交通事故・一般事故の発生件数     | 90        | 件  | 市内小中学校の生徒指導活動を支援し、学校・家庭・地域・教育委員会・関係機関等が連携した協力体制の充実を図る。                | Ⅰ                                                                                               | Ⅰ           | 1.現状のまま継続           | 791             | 4,829       | 高い |
|                        |                |    |            |                         | 78        |    |                                                                       |                                                                                                 |             |                     | 796             | 4,829       |    |
|                        |                |    |            |                         |           |    |                                                                       |                                                                                                 |             |                     | 802             | -           |    |
| 5                      |                |    |            |                         |           |    |                                                                       |                                                                                                 |             |                     |                 |             |    |
| 6                      |                |    |            |                         |           |    |                                                                       |                                                                                                 |             |                     |                 |             |    |
| 7                      |                |    |            |                         |           |    |                                                                       |                                                                                                 |             |                     |                 |             |    |
| 8                      |                |    |            |                         |           |    |                                                                       |                                                                                                 |             |                     |                 |             |    |
| 9                      |                |    |            |                         |           |    |                                                                       |                                                                                                 |             |                     |                 |             |    |

|                             |     |                                   |           |                                                                                                                                                                                                 |        |     |        |
|-----------------------------|-----|-----------------------------------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----|--------|
| 施策全体の事業費                    | H22 | 実績(直接経費＋人件費)                      | 29,594 千円 | 直接経費                                                                                                                                                                                            | 9,655  | 人件費 | 19,939 |
|                             | H23 | 実績(直接経費＋人件費)                      | 29,668 千円 |                                                                                                                                                                                                 | 9,729  |     | 19,939 |
|                             | H24 | 予算(直接経費)                          | 10,244 千円 |                                                                                                                                                                                                 | 10,244 |     | －      |
| ② 事業構成の妥当性<br><br>(手段は妥当か?) | A   | 効果的な事業構成である。<br>(現状のまま継続する)       | 事業構成の妥当性  | 理由・問題点                                                                                                                                                                                          |        |     |        |
|                             | B   | 概ね効果的な事業構成である。<br>(一部見直し等の余地がある)  | A         | 児童生徒の問題行動については、未然防止を図るとともに不登校等への支援を行い学校復帰を目指す必要がある。<br>当市においては、小学校に相談員やスクールカウンセラーを配置し教育相談を充実させることにより、中学校に進んだときの不登校等の未然防止も図っている。また、教育委員会として適応指導教室を開設し、家庭や学校と連携した指導・支援を行うことにより、児童生徒の学校復帰につながっている。 |        |     |        |
|                             | C   | あまり効果的な事業構成ではない。<br>(見直し等の余地が大きい) |           |                                                                                                                                                                                                 |        |     |        |

| 4. 今後の方向性       |                  |    |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------|------------------|----|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 総合評価<br>(部次長評価) | 事業の見直し等<br>今後の展開 | 拡大 | ○ | 評価コメント<br><br>教育の相談については、相談件数や相談内容、児童生徒の問題行動等の推移を検証したうえで、スクールカウンセラーの配置増や心の教室相談員の従事時間の拡充を行い、北海道によるスクールカウンセラー委託事業の維持継続等を要請し、充実を図る。<br>また、適応指導教室の運営では、不登校児童生徒の学校復帰が円滑となるように、生活指導や集団行動等の支援指導に加え各学校との協力体制による学習指導なども取り入れる。<br>児童生徒の非行事故や一般・交通事故については、未然防止として家庭・学校・教育委員会における児童生徒に対する注意喚起や生徒指導を行うとともに、関係機関や団体、市民が一体となった健全育成事業等と連携して取り組む必要がある。 |
|                 |                  | 維持 |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                 |                  | 縮小 |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

| ○二次評価委員会          |                  |    |   |                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------------------|------------------|----|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 二次評価<br>(二次評価委員会) | 事業の見直し等<br>今後の展開 | 拡大 | ○ | 評価のポイント、論点等<br><br>評価コメント<br>児童生徒の問題行動、いじめ、不登校等の問題の解決は、早期解決と未然の防止に対応する教育相談・指導体制の充実が重要であることから、当施策の今後の方向性及びその内容について承認する。<br>なお、不登校児童生徒数が増加していく傾向にあることから、学校・家庭・関係機関が連携できる体制の整備を図る必要がある。<br><br>評価のポイント・論点<br>・不登校児童生徒数の増加による相談体制の整備<br>・生徒指導における学校・家庭・地域・教育委員会・関係機関等が連携した協力体制の充実 |
|                   |                  | 維持 |   |                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                   |                  | 縮小 |   |                                                                                                                                                                                                                                                                               |

| ○市民評価会議              |                  |     |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------------------|------------------|-----|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 市民行政アクセス<br>(市民評価会議) | 総評               |     |   | 一次評価については、担当課とのヒアリングを通じて実施内容・評価内容を確認した結果、妥当であると判断する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                      |                  |     |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|                      | 事業の見直し等<br>今後の展開 | 拡大  | ○ | 理由・意見<br><br>(理由)<br>・家庭環境の中で、子どもの教育について悩んでいる市民は少ない。心の相談員・スクールカウンセラーの配置事業は、市民ニーズに沿うものである。今後も問題の多様化・深刻化に対応するため、学校と地域の連携、カウンセラーの増員など、相談者に寄り添い親身になって気づかう体制が必要である。<br>(意見)<br>・不登校、いじめ対策に対する事務事業がすべて自主事業により展開されていることは、千歳市が責任を持ち対応する姿勢が表れていて、高く評価できる。<br>(事務事業の意見)<br>・心の教室相談員配置事業<br>心の相談員は地域の人材の配置により、学校と地域のパイプ作りも担っている。子どもの変化に気付き学校に伝えられるよう未然防止に努めてほしい。<br>・スクールカウンセラー配置事業<br>スクールカウンセラーの案内が学校から年度初めにプリントにより配布されるが、できれば年に数回、情報発信を行いPRを図ってはどうか。 |
|                      |                  | 維持  |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|                      |                  | 縮小  |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|                      | 施策評価表の記載内容       | 適切  |   | 理由・意見<br>(理由)<br>・施策に対する事業内容や活動の実態が伝わりにくい。<br>(意見)<br>・市独自の取組等、具体的な活動内容のPRは市民の理解を得るため重要である。本事業の情報発信の方法について再吟味が必要である。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                      |                  | 要検討 | ○ |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

## 平成 24 年度 千歳市市民評価会議委員名簿

(敬称略)

| 区 分    | 氏 名                | 所属団体                                               | 備考  |
|--------|--------------------|----------------------------------------------------|-----|
| 委員     | いしだ こうじ<br>石田 宏司   | 千歳科学技術大学                                           | 会長  |
|        | あら よういち<br>荒 洋一    | 千歳市社会福祉協議会                                         |     |
|        | はま かずほ<br>浜 一穂     | 千歳市社会教育委員の会議                                       | 副会長 |
|        | ひろしま じゅんこ<br>広島 潤子 | 千歳市市民協働推進会議                                        |     |
|        | ふくはら みつる<br>福原 満   | 千歳市商店街振興組合連合会                                      |     |
| アドバイザー | しのはら しんじ<br>篠原 辰二  | 特定非営利活動法人<br>ファシリテーター フェローズ<br>Facilitator Fellows |     |

## 千歳市市民評価会議設置要綱

## (設置)

第1条 市の施策及び事業について、市民の視点に立ち評価を行うことにより、評価の客観性及び透明性を確保し、もって効率的な行政運営を推進するため、千歳市市民評価会議（以下「評価会議」という。）を設置する。

## (所掌事項)

第2条 評価会議は、市の施策及び事業の評価に関する事項について調査審議する。

## (組織)

第3条 評価会議は、委員5人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が依頼する。

- (1) 学識経験者
- (2) 住民の意見を代表する者
- (3) その他市長が特に必要と認める者

3 評価会議には、必要に応じアドバイザーを置くことができる。

## (委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

## (会長及び副会長)

第5条 評価会議に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員が互選する。
- 3 会長は、評価会議を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

## (議事)

第6条 評価会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 評価会議は委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。
- 3 会長は、必要と認めるときは、委員以外の者に評価会議の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。
- 4 評価会議は公開する。ただし、公開することにより評価会議に著しい支障を及ぼ

すおそののある場合その他相当の理由があると会長が認めた場合は、これを非公開とすることができる。

(庶務)

第7条 評価会議の庶務は、千歳市企画課において行う。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、評価会議の運営に関し必要な事項は、会長が評価会議に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成24年2月28日から施行する。